

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社ユニマットそよ風		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風(富士ユニット、箱根ユニット合同)		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	平成26年1月22日	評価結果市町村受理日	平成26年3月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2010_022_kani=true&JigvoCd=2291200034-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシメビル6階		
訪問調査日	平成26年2月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の進行や機能低下による摂食障害、排尿困難に対し、職員一人ひとりが適切な対応が出来るよう日々、切磋琢磨し、また、職員同士で支え合い、利用者様お一人おひとりを支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

デイサービス併設ということもあり刺激もふんだんで、機能維持に対する意識も高く1日に2回は事業所内を歩行しています。ごみ捨てからまた階段を昇って戻るといった生活リハビリを実践しており、役割をもつことでの満足感のある暮らしを目指しています。入院生活で食べることを忘れてしまった利用者に、職員が手弁当持参で夕食介助に通り、試行錯誤の末食べ物を口にすることが出来た例もありました。熟練の職員は「家族の一員としての支援をしたい」と語り、一方で若い職員が「自分の親だったらどうかとの視点をもっている」と発言があり、年齢・経験・出身に関わらずどの職員も温かな目と手で取組んでいることを確認しました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	そよ風基本理念は、スタッフルームの壁に掲示し、グループホーム理念は、出勤簿に貼り、常に見られる状況で共有し、実践している。	事業所独自の理念はそれぞれのユニット職員が意見を寄せ合って決められたもので、困難事例を乗り越えたチームワークは理念が浸透している証であると受けとめられます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	民生委員さんや班長さんを通じて、地域の情報を提供していただき、地域行事に積極的に参加し、交流させていただいている。	本年の大雪による雪かきは地域協力なくしては成らず、ありがたみを感じています。大正琴、津軽三味線のボランティア訪問のほか、保育サポートを務める民生委員が子ども達と訪ねてくれることもあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の老人会や地域活動に参加している。また、併設しているデイサービスの行事には、一緒に参加させてもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、偶数月の第2土曜日と決め、必ず行っている。運営状況の報告や、それぞれの方の意見を聞き、サービスの向上に活かしている。	休日開催ですが、地域包括支援センター職員の協力参加も得られています。行政への届出義務に係ることや防災面でのアドバイスや「地域の拠点となることも視野に入れてほしい」との提案も挙がっていて活発です。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所が近隣にある為、わからない事や相談等頻回に行き、協力させていただいている。	年数回、市担当者の運営推進会議への出席があります。庁舎は徒歩範囲にあるため窓口まで出向きやすく、空き情報ももらえ協力関係が築けています。川が近いことで、台風には土木課から様子確認もあります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に1度のユニット会議やGH会議等では、話し合いの中で、身体拘束の認識を深め、職員へ指導している。	ケース検討では拘束にあたるケアがないか振り返るとともに、スピーチロックは気になった場面で注意を促しています。バルーンカテーテル抜去の利用者には「緊急やむを得ない場合」としてミトン使用の期間もありましたが、慎重な検討を慎行しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1月の各ユニット会議の際、「高齢者虐待予防」の勉強会を行い、研修報告書を書いてもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等の機会があれば、積極的に参加し、会議などで勉強会を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、ご利用者様、ご家族に十分説明し、ご理解いただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口、担当が対応している。家族会は3か月に1度行い、年2回は、運営推進会議と合同で行い、意見や要望を聞く機会が多くあり、運営に反映させている。	本年度は2月に法人アンケートを行い、また家族とは少ない人でも月に一度は直接会話をもっています。年4回の家族会のうち2回は運営推進会議併催とし、毎回半数近くの家族参加があります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やグループホーム会議、ユニット会議において意見交換を行い、運営に反映させている。	会議では利用者に関わる事柄で意見交換が活発ですが、管理者からは質の向上に反映する視点を投げかけるようにしています。定期の個人面談のほか、気になることは直接相談に応じています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別面談を行い、目標を設定し、各自が向上心を持って働けるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	機会があれば、積極的に参加してもらい、持ち帰り施設内での勉強会を行っている。また、研修報告書を提出してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の法人内の会議に参加し、法人内のグループホームの相互交流を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人から、生活への不安や要望等を聞き、安心できる生活や環境づくりを行い、信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からの情報提供をもとに、ご本人、ご家族の望む生活の実現に近づけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネ、計画作成がご本人、ご家族の要望を受け止め、その時々に必要なサービスの導入を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれのご利用者様の状況で、自立に向けての支援をし、役割を持っていただく事でお互いが認め合える関係を目指している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、頻繁に来所していただいたり、外出していただく事で、ご本人の情緒の安定に繋がっているのも、その際の状況やホームでの様子を伝えながら、良い関係が築けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域密着であるので、利用者様同志が近隣の方だったり、親戚だったりされる。また、併設のDSに知り合いがいるなど、馴染みの関係が続いている。	家族面会が豊富ななか「近所だったんだね」との例も多く、地域の付き合いが継続しています。週に何度も訪れる家族との外出や、大晦日に夜半まで居てくれる家族と満ち足りた時間を過ごしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常的に、出来る事、出来ない事を理解し、お互いに協力し合えるような環境を作りをし、一人ひとりに支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても利用者様やご家族が必要とされる支援が出来るよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的な会話からご本人の希望や意向を聞き、それに近づけるよう努めている。ユニット会議や申し送りノート等で情報の共有をしている。	言葉での表出が困難な場合には、声かけに対してどんな表情や行動をするかで想いを推し量っています。本人の意向に沿ったアプローチ方法を記録し、ケース会議で検討のうえ標準化を進めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回相談時や利用申し込み時に、これまでの生活歴や生活環境をご本人、ご家族様から情報提供していただき、把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用様お一人おひとりの1日の過ごし方、心身状態を観察し、記録、申し送りを徹底している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族と話し合い、ケアマネ、計画作成が介護計画書を作成し、計画作成とケース担当が月に1度の支援経過、モニタリングを行なっている。	3ヶ月に一度見直しをしています。担当者の評価をケースカンファレンスで練り、ユニット毎に計画作成しています。家族には定期で支援経過と評価を書面提示のうえ根拠としての説明ができることに重きを置いています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は、介護記録に記入し、職員は常に記録に目を通し、申し送りで情報共有している。計画書の見直しにも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の要望、意向に沿った形で柔軟に支援できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員さんや班長さんを通じて、地域の情報を提供していただき、地域行事に積極的に参加し、交流させていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院からの月2回の訪問診療を受けている。急変時は、地域連携室ナースが対応してくれ、適切な医療が受けられている。	脳外科といった専門医はかかりつけ医を継続している人もいますが、月2回協力医の往診があり、地域連携室の看護師が訪問しているため医療機関とつながりやすく全員が協力医に変更しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を配置し、利用者様、個々の健康管理、介護員の相談に対しての助言をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院のソーシャルワーカー、地域連携室と情報交換し、早期退院がスムーズに行えるよう連携を取っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分説明している。また、月2回の訪問診療時、ご家族に同席いただき、医師より状況の説明をもらっている。	契約時には重度化に係る説明を行い、事業所の方針に同意を得ています。体調変化での協力医往診には家族も同席してもらい、今後の相談を行っています。看取りの実績はありませんが、事業所としてもできる限りの支援に取組む考えがあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルは、すぐに見られるよう掲示し、年に数名ずつ、救命講習を受講するようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練には、毎年必ず参加させてもらっている。年2回の防災訓練と夜間訓練も行っている。	年2回の訓練で階段を使った避難について課題が明らかとなり、現在機能訓練の実施で改善を図っています。地域防災訓練に利用者も半数が参加し、運営推進会議での声かけで有事の協力体制も敷かれています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いには十分注意し、スタッフ間でも統一している。尊厳やプライバシーを損ねないように努めている。	「気づかないうちに失礼な態度や言葉遣いになっていないか」、随時振り返り確認を行っています。「背中をみせない」、「利用者を交えて話をする」との決まり事が遵守され、職員の気配りが視認できました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや希望を自己決定出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人おひとりのペースに合わせ、希望に沿えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の更衣、整容、外出時の身だしなみやおしゃれの支援を行っている。定期的に散髪やヘアカラーも行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の希望のメニューを取り入れ、出来る範囲で下ごしらえや調理なども一緒に行っている。片付けや掃除も行って下さっている。	月に1～2度、春御膳(ビーフストロガノフ、サブランライス)、土用の丑御膳との季節料理が披露され、インフルエンザ流行の時期にも医師から「この利用者は食べてるから体力があって大丈夫」との言葉をもらっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考え、その方に合わせた形状で食事を提供している。食事量が少なくなっている方には、高カロリー食品、飲料で補っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声かけ、誘導を行い、出来ない方は介助している。義歯の方は、就寝時に義歯の消毒をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに応じた誘導、介助を行っている。リハビリパンツだった方が、布パンツになった方が数名いらっしゃる。	日中はトイレでの排泄を基本とし、そわそわした行動や表情で一人ひとりの尿意とパターンを把握し、適切な誘導で生活リズムが整い布パンツに移行した例が3名あり、家族にも喜ばれています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤の使用を極力避け、野菜を多く取り入れたり、栄養補助食品の食物繊維を味噌汁や水分に入れるなどしている。1日のどこかで体を動かす時間を作っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望に応じて入浴していただいている。入浴剤を使用し、時期によって、ゆずや菖蒲を入れるなど季節感にも配慮している。	毎日湯を準備して、入りたい気分に応じた支援を行っています。湯は個別に入れ替え、好みの浴剤や乾燥肌対策の保湿入浴剤でリラックスした気分を味わい、昔話にも花が咲きます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活習慣、希望、状況に応じて休息や睡眠をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、一人ひとりが服薬している薬剤情報を共有し、服薬支援、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様、お一人おひとりの希望を聞き、楽しみや張り合いを持って生活出来るよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	近所へ散歩へ出かけたり、外へ出られない日はベランダへ出て外気浴をしている。ご家族がとても協力的で近所のスーパーや図書館へ行ったり、お墓参りや、法事などにも出かけられている。	戸外の空気を感ずるためゴミ捨ても一緒に行い、また目前の『子供の家』まで散歩したり、富士ユニットからは近隣の大型スーパーが見えるため「行ってみたい」との発言が聞かれ外出意欲に繋がっています。花見や秋祭りの屋台見学も楽しみの一つです。	家族アンケートでは「外出が減ったような気がする」との意見もあり、家族も納得する日常的な外出支援を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行った際は、ご自分の欲しい物を選んでいただき、支払が出来るよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて、電話や手紙のやり取りを出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	旬の食材で料理をしたり、壁飾りで季節感が感じられるようにして、居心地良く過ごしていただいている。	白いクロスが共用空間の明るさと清潔感を高めています。感染症発症の経緯から清掃研修を行い、「汚れたらその都度」が習慣化されていて、またソリションウォーターろ過機も設置され、衛生管理が充実しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、ソファを置き、一人で過ごしていただいたり、仲の良い方がお話しされたりしておられる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約時に、ご家族に説明し、なるべく使い慣れた物を持って来ていただき、居心地良く過ごしていただいている。	備え付けのクローゼットは十分な収納スペースとなり、飾り棚には家族や愛犬の写真が飾られ、仏壇や筆筒の持ち込みもあります。壁一面に家族との外出写真が貼られている居室もありました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室、トイレには、手すりがあり、安全に移動できるよう見守り、介助している。出来る事は、時間がかかってもご自分でやっていただいている。		